



和歌山で、
漁師
になる。



和歌山県漁業就業ガイド

和歌山県農林水産部水産局水産振興課

目次

和歌山県の漁業

漁業の特徴	1
漁業の就業形態	2
操業スケジュール例(独立型)	4
操業スケジュール例(雇成型)	6

新規就業までの流れ	8
-----------	---

新規就業支援制度	9
----------	---



和歌山県の漁業

漁業の特徴

和歌山県の海域は、日ノ御埼を境に、内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に大きく分けられ、それぞれの海域特性に応じた漁業が各地で行われています。

瀬戸内海海域では、タチウオやエビ類を獲る「小型底びき網」、シラス(イワシの稚魚)を獲る「船びき網」、マダイやアジ・サバ類等を獲る「一本釣り」、海藻や貝類を獲る「採介藻」などの漁業が営まれています。

太平洋海域では、カツオ・マグロ類を獲る「ひき縄釣り」や「はえ縄」、イサキやマダイ等を獲る「一本釣り」、アジ・サバ類等を獲る「まき網」、ブリ・サワラ等を獲る「定置網」、イセエビや磯魚を獲る「刺網」などの漁船漁業のほか、マダイやクロマグロの「魚類養殖業」が営まれています。

県の海面漁業生産量(R3)は16,756トンで、魚種別ではサバ類、シラス、マアジ、ムロアジ類が多く、魚種別生産量が全国的に上位を占めている魚種は、イセエビ(133トン、全国3位)、タチウオ(410トン、全国6位)、ムロアジ類(751トン、全国6位)、シラス(3,401トン、全国6位)となっています。

海面養殖生産量(R3)は4,722トンで、クロマグロ(1,965トン、全国5位)、マダイ(2,499トン、全国6位)の2魚種で県内養殖生産量の9割を超えています。

主な水産物



タチウオ



イセエビ



マルアジ(ムロアジ類)



シラス



カツオ



マダイ



漁業の就業形態

漁業の就業形態には、**1：独立型**と**2：雇成型**の二つに分類できます。

1：独立型

自分の船を持ち、自らが経営者となって漁業を営む形態です。漁船漁業であれば、船舶免許等の資格や漁船や漁具などの取得が必要となるため、十分な資金の準備が必要となります。

※代表的な漁業種類：一本釣り(ひき縄釣り)、採介藻、刺網など



一本釣り



ひき縄釣り

2：雇成型

個人経営者や漁業会社に雇用され、従業員として漁業に従事する形態です。経営者から賃金をもらい、周囲の先輩漁師から技術指導を受けながら、漁業の経験を積むことができます。

※代表的な漁業種類：船びき網、底びき網、定置網、まき網、養殖など



船びき網



定置網



各地域で営まれる主な漁業種類



操業スケジュール例(独立型)

自らが経営者となる漁業で、地域の海域特性などに応じた様々な操業形態があります。

漁業者の多くは、それぞれの地域において季節ごとに漁獲対象とする魚種や漁法を変えながら、複数の漁業種類を組み合わせる漁業を営んでいます。

自分の意志で漁業をすることに憧れる方は多いですが、一人前の漁師になるためには先輩漁師から技術指導を受けるなど、知識や技術を習得しなければなりません。

また、独立して漁業を行うためには、漁船や漁具などを取得するための十分な資金を準備するとともに、船舶免許等の資格を取る必要があります。

代表的な漁業種類は、一本釣り、ひき縄釣り、刺網、採介藻などがあり、漁業種類によっては許可が必要な場合や、漁業権に基づいて営む漁業があります。

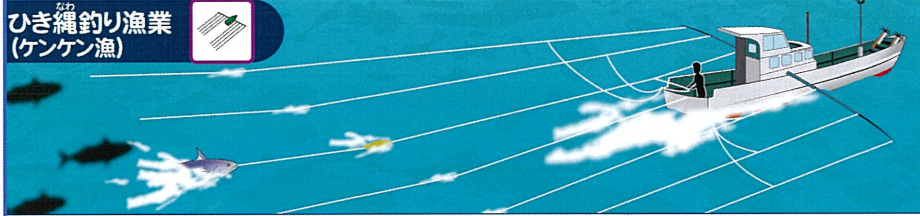
一本釣り漁業



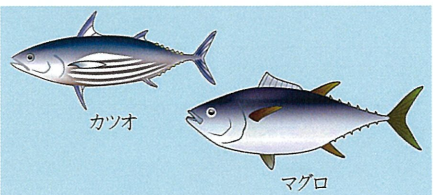


狙った魚の遊泳層に合わせて仕掛けをおろし、釣糸を操って魚を釣り上げる漁法
 〈乗組員〉1名
 〈漁期〉周年

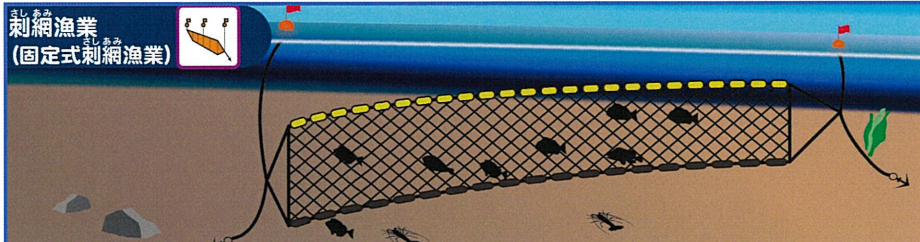
ひき縄釣り漁業 (ケンケン漁)




漁船を走らせながら、餌に見せかけた疑似針を付けた複数の釣糸をひき、針にかかったカツオなどを釣り上げる漁法
 〈乗組員〉1名
 〈漁期〉2月～5月(カツオ)
 1月～3月(マグロ)



刺網漁業 (固定式刺網漁業)

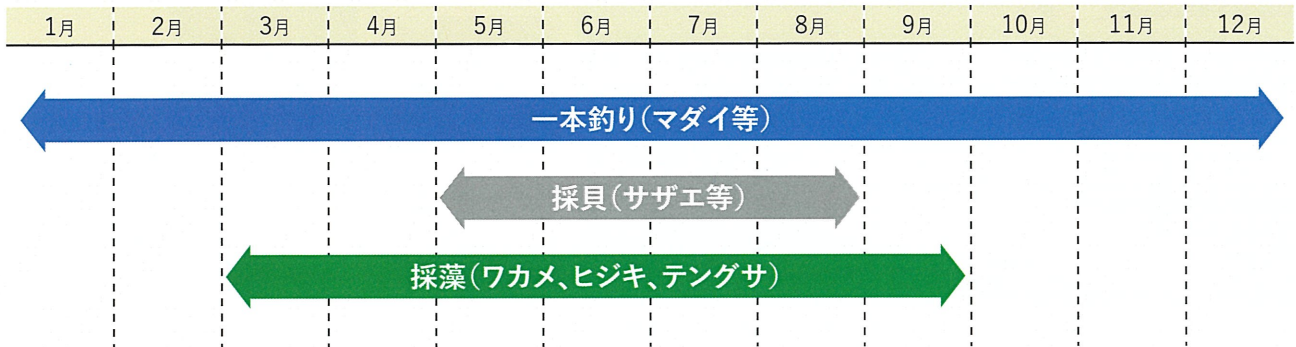


魚の通り道に目合の異なる帯状の網を仕掛け、魚を網に絡ませて獲る漁法
 夕方までに網を仕掛け、翌朝にひき揚げる
 〈乗組員〉1～2名
 〈漁期〉9月～4月(イセエビ)




■ 一本釣り+採貝・採藻漁業（瀬戸内海海区の事例）

〈 1年の動き 〉



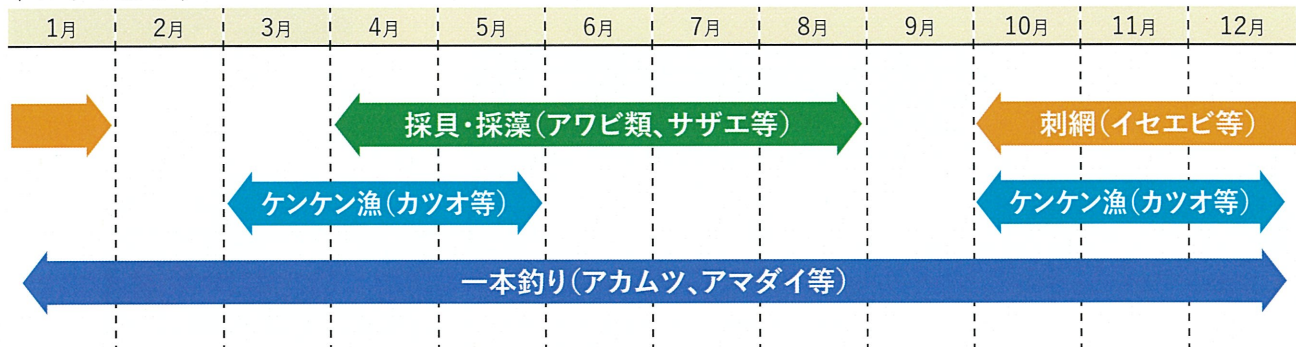
※年間操業日数:約180日(天候次第で操業日数及び休漁日は変動)

〈 1日の動き 〉

漁業種類	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	
一本釣り	出港	操業				帰港	出荷	(昼休憩)	漁具修繕	
採貝・採藻				出港	操業				帰港	出荷

■ 採貝・採藻 + 刺網 + 一本釣り(ケンケン漁を含む)漁業（太平洋海区の事例）

〈 1年の動き 〉



※年間操業日数:約160日(天候次第で操業日数及び休漁日は変動)

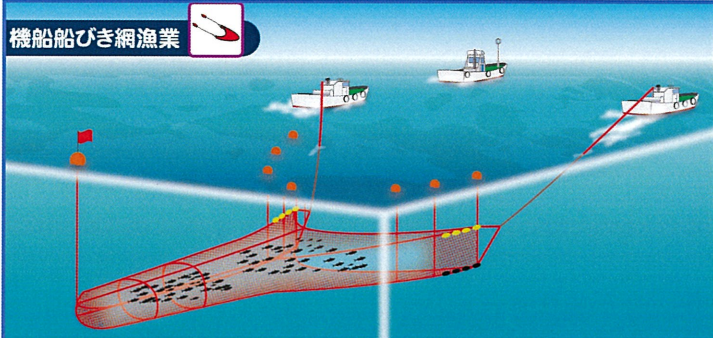
〈 1日の動き 〉

漁業種類	3時	4時	5時	6時	~	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
採貝・採藻							出港	操業		帰港			
刺網		出港	網引揚	帰港	網外し	網修繕					出港	網入	帰港
一本釣り ケンケン漁	出港	操業				帰港							

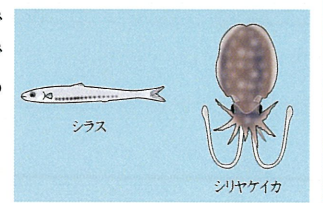
操業スケジュール例(雇用型)

■ 船びき網漁業 (湯浅町、有田市、和歌山市など)

機船船びき網漁業



2隻の網船と1隻の魚探船の3隻で操業し、探索した魚群を2隻の網船で袋状の網をひき、シラスなどを獲る漁法
 〈乗組員〉3～5名
 〈漁期〉周年(盛漁期 春、秋)




〈1日の動き〉

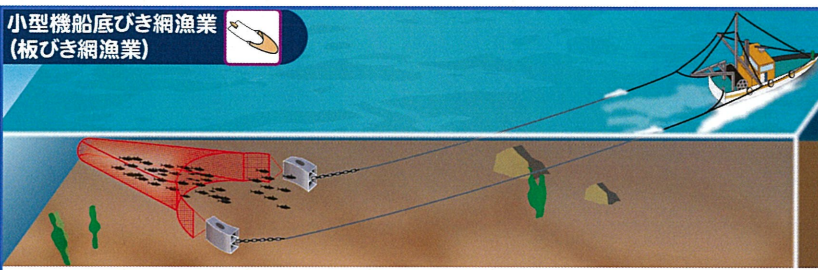
6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
出港	操業(投網→曳網→揚網) 1～2回/日				帰港～水揚・出荷	

※ 年間操業日数:約100日(その他、網仕事などの陸上作業あり)

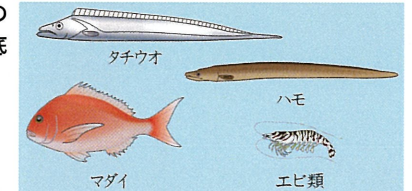
※ 出港及び網揚げ時刻は、月ごとに変更あり

■ 小型底びき網漁業 (有田市、湯浅町、和歌山市など)

小型機船底びき網漁業 (板びき網漁業)



1隻の漁船で、網の口を広げるための開口板を付けた袋状の網をひき、海底の魚やエビなどを獲る漁法
 〈乗組員〉1～2名
 〈漁期〉周年




〈1日の動き〉


3時	4時	5時	6時	～	13時	14時	15時	16時
出港	操業(投網→曳網→揚網→選別) 5～6回程度/日					帰港～水揚・出荷		

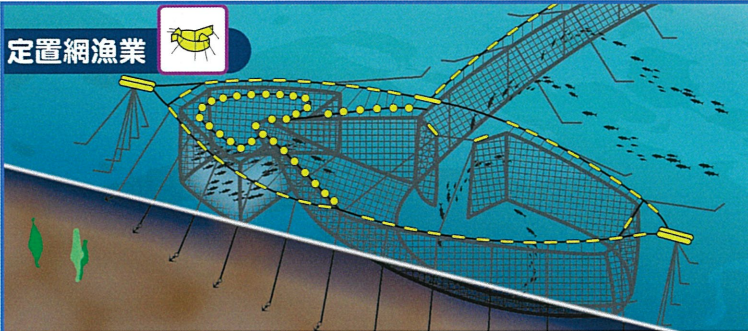
※ 年間操業日数:約120日(その他、網仕事などの陸上作業あり)

※ 操業時間は、季節で変わる地区もあり(春～夏:夜間操業、秋～冬:昼間操業)

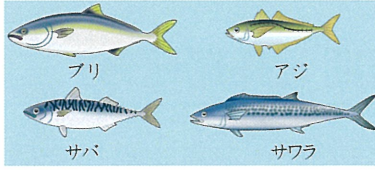


■ 定置網漁業 (那智勝浦町、太地町、串本町など)

定置網漁業 



網を魚の通り道に設置し、垣網に沿って魚群が沖側の囲網に誘導され、箱網に入った魚を獲る漁法
 〈乗組員〉5～20名
 〈漁期〉周年
 (夏は操業しない地区もあり)





〈1日の動き〉

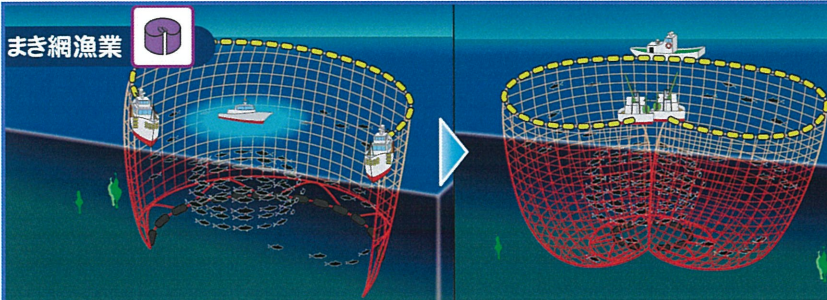
5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時
出港	網揚げ	帰港	水揚・出荷		網修繕など		

※ 年間操業日数:約200日(その他、網仕事などの陸上作業あり)

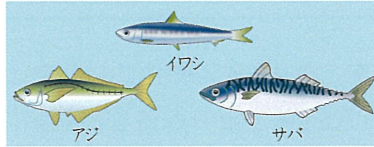
※ 夏季には操業しない地区もあり(同時期の陸上作業あり)

■ まき網漁業 (日高町、御坊市、田辺市など)

まき網漁業 



網船、魚探船(灯船)、運搬船などで船団を組み、灯船の灯りで集めた魚群を網で囲い込んで獲る漁法
 〈乗組員〉20～35名
 〈漁期〉2～12月




〈1日の動き〉

15時	16時	17時	18時	19時	～	1時	2時	3時	4時
出港	探索		操業(網入→揚網)			帰港～水揚・出荷			

※ 年間操業日数:70～100日(その他、網仕事などの陸上作業あり)

新規就業までの流れ

1：情報収集・就業相談

漁業への就業を考える場合、まずはどのような漁業をしてみたいかご検討ください。

和歌山県内の漁業に関する情報収集や、漁業就業に関する相談については、和歌山県漁業就業者確保育成センターで受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください(裏面参照)。

また、国などが開催する「漁業就業支援フェア」などでは、就業希望者を受け入れる意思のある漁業者も出展しておりますので、是非参加されることをお勧めします。

和歌山県漁業就業者確保育成センターのホームページでは、県内の漁業求人情報や漁業就業に向けた支援地区に関する情報発信も行っておりますのでご活用ください。

2：漁業体験～技術習得（短期・長期研修）

就業してみたい漁業が決まれば、相談窓口での相談や、実際に漁村へ訪問し、自分がその地域に住んで、漁業を続けていくことができるかどうかのイメージを深めていくことが大切です。

地域によっては事前に漁業体験ができる場合もありますので、まずは自分に合う漁業であるかを確認するためにも、漁業体験の受講をお勧めします。

その後、受入地域においてマッチングとなれば、漁業現場に入り、指導者の教えを受けて技術を習得することになりますが、その際の支援制度として、短期・長期研修(P.9参照)の活用が可能です。



3：漁業への就業

研修などを経て、技術を習得すれば就業となります。雇用型の漁業は、引き続き、研修先で就業することとなりますが、独立型の漁業の場合は、船舶免許や漁船の取得など就業に向けた準備が必要となりますので、事前に研修先で十分ご相談ください。

なお、漁村への移住にあたっては、漁業だけではなく、地域の様々な活動に参加し、地域の一員として生活していくことが重要になってきますので、漁業以外の活動にも積極的にご参加いただくことをお勧めします。



新規就業支援制度

和歌山県では、漁業の新規就業者の確保・育成するため、就業を希望される方との相談対応をはじめ、漁業体験や技術習得のための漁業研修の実施など、新規就業に向けた支援体制を設けております。活用については県漁業就業者確保育成センターまでご相談ください(本項内容は令和5年度事業)。

県・国の支援制度

●漁業担い手育成支援事業(県事業)

・漁業体験(1日～)

漁業への就業を検討する方を対象とした漁業体験

・短期研修:トライアル研修(1ヶ月)

長期研修前に漁業の基礎や漁村暮らしを実体験する短期研修

・長期研修:漁業技能承継実践研修(独立型:最長23ヶ月、雇用型:最長5ヶ月)

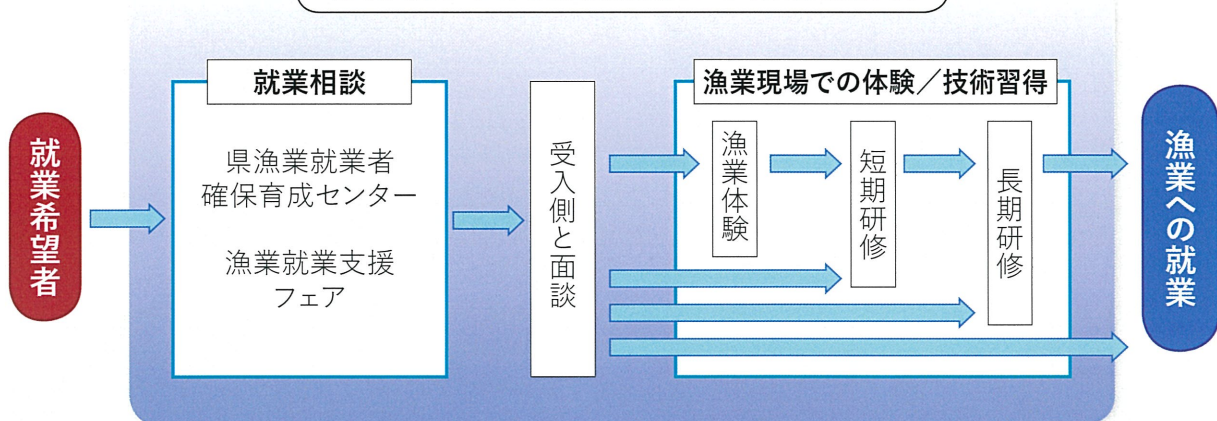
漁業への就業に必要な技能を習得するために実施する研修

☆研修受講中の研修生には、給付金(独立型研修:最大15万円/月)又は賃金(雇用型研修)を支給
☆指導者との関係が3親等以内(親子等)で実施する研修も支援対象となる場合あり

●経営体育成総合支援事業(国事業)

漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる研修

和歌山県における新規漁業担い手育成支援体制



●融資制度(沿岸漁業改善資金)

漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資

県内市町の支援制度

有田市: 船舶免許など資格取得に要する経費や家賃を支援

すさみ町: 漁船等の購入経費を支援

和歌山県へのアクセス

全国主要都市からのアクセス

鉄道利用

〈JR〉

- 東京から和歌山市(和歌山駅) …… 約4時間
- 名古屋から和歌山市(和歌山駅) …… 約2時間
- 新大阪から和歌山市(和歌山駅) …… 約1時間
- 名古屋から新宮市(新宮駅) …… 約3時間30分
(三重県側から)

〈南海電鉄〉

- 大阪(なんば)から和歌山市(和歌山市駅) …… 約1時間

自動車利用

- 大阪から和歌山市 …… 約1時間30分
- 名古屋から新宮市 …… 約4時間30分
(三重県側から)

飛行機利用

- 東京(羽田)から白浜空港 …… 約1時間10分
- 東京(羽田)から関西空港 …… 約1時間10分



県内間のアクセス

鉄道利用

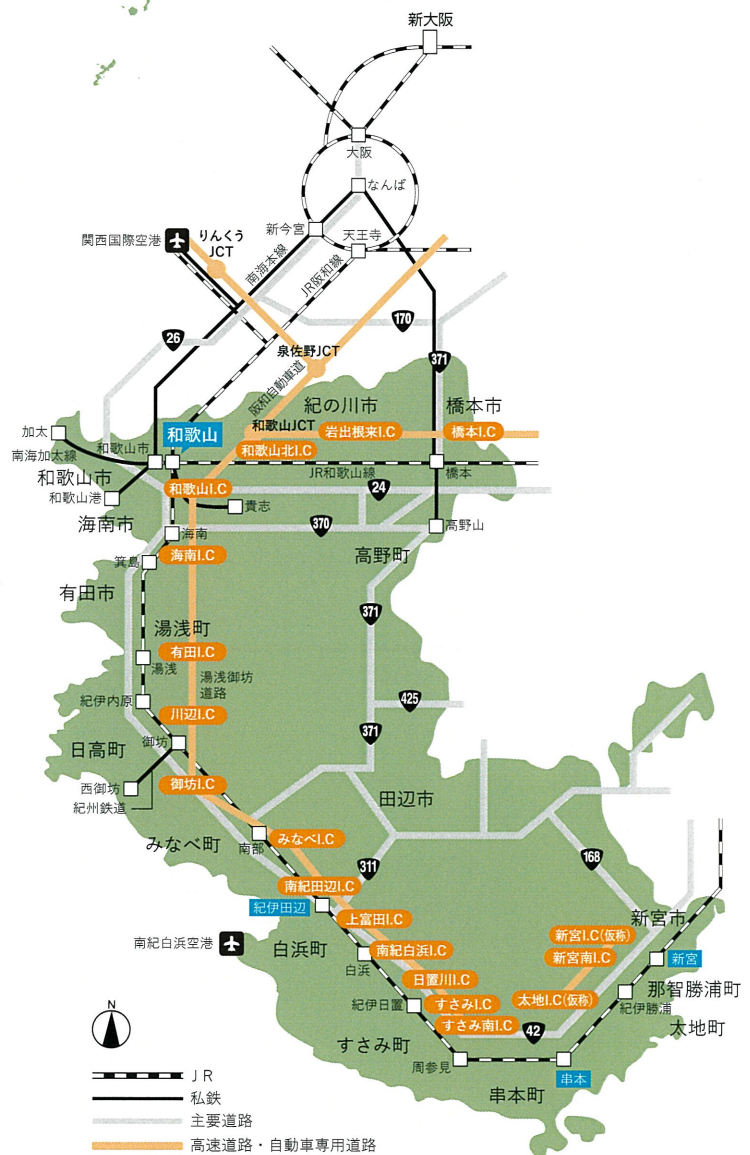
和歌山市(和歌山駅)

- 田辺市(紀伊田辺駅) …… 約1時間30分
- 串本町(串本駅) …… 約2時間30分
- 新宮市(新宮駅) …… 約3時間30分

自動車利用

和歌山市(和歌山IC)

- 田辺市(南紀田辺IC) …… 約1時間
- 串本町(すさみ南IC経由) …… 約2時間
- 新宮市(新宮南IC経由) …… 約3時間



和歌山県での漁業就業に関するお問い合わせはこちらへ

和歌山県漁業就業者確保育成センター (和歌山県庁水産振興課内)

TEL 073-441-3000 FAX 073-431-2244 e-mail e0710001@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071000/center/top.html>

